

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-107	高等学校	地理歴史	地図	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
81 山川	地図081-904	コンパクト地理総合地図 改訂版		

1. 編修の基本方針

世の中の情勢を学ぶにはまず“どこ”で起きた出来事なのかを知る必要があります。その“どこ”がわかるようになるためには日ごろから地図に慣れ親しみ、有効に活用することが大切だと考えます。

本地図帳は、地理総合の目標である地理的知識・技能の習得に加え、地域の現状や課題を考察・解決するための能力を養うことを目的とし、それらを視覚的に理解できるよう地図とともに写真や図版を精選して編修しています。

①変型判ならではの世界地図・日本地図の工夫



広域図と拡大図をあわせて掲載した「中央アメリカ」と「カリブ海諸国」や、日本の三大都市圏を1図に収めた「東京～名古屋～大阪」など、地域の相互関係が把握でき、横に広い判型を活かした独自の性のある地図を作成しました。

◀ P.79～80
中央アメリカ・カリブ海諸国

② 地図と写真で読み解く「地域の特集」と「地名解説」



世界地図や日本地図には、地域の理解を深める「地域の特集」や「地名をさがしてみよう」のコーナーを設けました。自然環境やその生活文化を文字や写真から読み解いていきます。

◀ P.43～44 西アジア

③ 地理総合の内容に沿った、4つのテーマの資料図

137 自然環境と防災 日本の自然環境と防災

138 自然環境・防災

地形や気候などの自然環境をもとに、日本の国土と防災について考察します。特に防災では、自然災害による被害やその対策、復興のようすを地図と写真から理解させ、持続可能な社会づくりへの力を養います。

◀P.137~138
日本の自然環境と防災

141 生活文化 世界の衣食住

142 生活文化

世界には多様な言葉・宗教・衣食住があることに気づかせ、異文化への理解や尊重について考察します。特に衣食住では、地域色あふれる伝統的なものから画一化がみられる現代的なものまで豊富な写真や地図を掲載しました。

◀P.141~142 世界の衣食住

143 地球的課題 世界の人口・食料問題

144 地球的課題

地球的な規模で起こるさまざまな課題について考察します。食料・資源の不均衡や越境する汚染について、食品ロスやスマートフォン、プラスチックごみなど高校生の目線で身近に感じる題材を用いて取り上げました。

◀P.143~144
世界の人口・食料問題

181 地図とGIS 地図とGISの基本

182 地図とGIS

地図・GISの基本を学んだり、世界の結びつきを地図から考察したりします。本地図帳の巻末のページではGISのしくみやWebGISの紹介だけでなく、地図とGISの技能として重要な緯度・経度や縮尺についても丁寧に解説していきます。

◀P.181~182
地図とGISの基本

④地図・地理に親しめる基礎的な資料を収録

(1)地図を読み解く土台をつくる「地図帳の使い方」



▲P.5~6 地図帳の使い方

地図帳を充分に活用することができるように、地図帳の冒頭部分に「地図帳の使い方」というページを設けました。地図表現や索引の引き方など地図帳を活用するうえで有用となる知識・技能を習得できるほか、地図帳で取り上げた特集・テーマについて解説していきます。

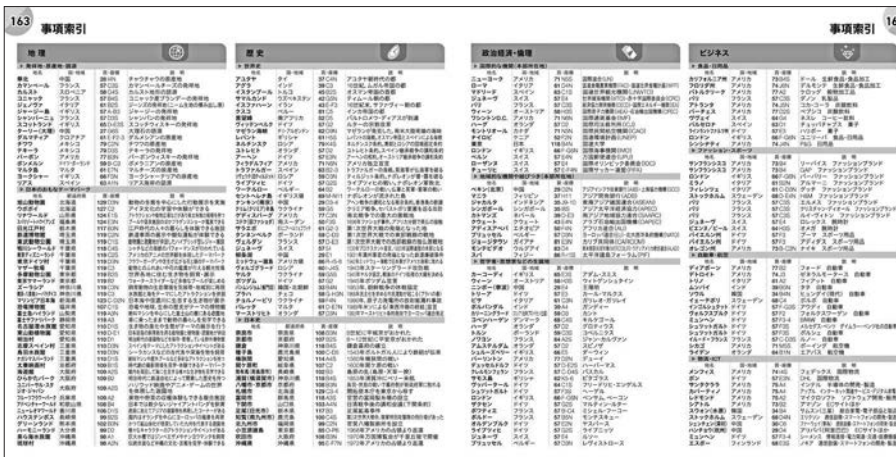
(2)世界全197カ国の概要を盛り込んだ「世界の国々基本データ」



▲P.7~8 世界の国々基本データ

世界の国々への理解が深まるよう、「世界の国々基本データ」では独立国197カ国の国旗や数値的な基礎資料にくわえ、各国の概要を読みやすい簡潔な文章で掲載しました。また、写真も豊富に掲載し、ビジュアル面にもこだわって構成しました。

(3)楽しみながら地名を探せる「事項索引」



▲P.163~164 事項索引

「地理」「歴史」「政治経済・倫理」「ビジネス」の4つのテーマに関わりの深い地名を世界地図・日本地図からピックアップした「事項索引」を収録しています。地名をテーマ別に掲載することでの地名に対する興味・関心を引き出し、生徒自らが自主的に地図帳を使うようにしました。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
世界の国々	冒頭のページにて世界の独立国の全てを見られる図を掲載し、一覧性を高めて知識の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。(第一号)	P.1～2
日本の都道府県 日本の位置	我が国の国土の現状や周辺諸国との位置関係が理解できるようにしています。(第五号)	P.3 P.91～92
世界の国々基本データ	日本を含む世界の独立国全ての国旗や統計資料・概要を掲載することで、世界の国々の現状を知ることができるようにしています。(第五号)	P.7～24
世界地図（世界の一般図） ユーラシア・アメリカ、東アジア、台湾、中国東部、華北平原、朝鮮半島、東南・南アジア、東南アジア拡大図、フィリピン、南アジア拡大図、中央アジア、西アジア、西アジア拡大図、イスラエル・パレスチナ周辺、アフリカ、アフリカ北部、アフリカ南部、地中海、ヨーロッパ、西・中央ヨーロッパ、ヨーロッパ東部、イタリア・バルカン半島、イベリア半島、ベネルクス周辺、スイス、イギリス・アイルランド、北ヨーロッパ、アイスランド、ユーラシア北部、北アメリカ、ハワイ諸島、北アメリカ中央部、アメリカ合衆国西部、アメリカ合衆国東部、中央アメリカ、カリブ海諸国、南アメリカ、マゼラン海峡、南アメリカ中央部、太平洋・インド洋、オセアニア、大西洋、北極・南極	世界の国土や環境の様相にかかわる事柄を一般図中に取り上げて、知識や教養の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。(第一号)	P.25～90 までの一般図部分
	おもな地形名称を取り上げ、世界のどのような地域に地理的特徴のある地形が存在するのかがわかりやすいようにしました。(第一号、第四号)	P.25～90 までの一般図部分
	世界の一般図に世界遺産の記号と名称を取り上げ、他の地名と区別がつくような記号と色彩にしています。(第四号)	P.25～90 までの一般図部分
	ヨーロッパの歴史や文化を考える上で役立つ聖堂・教会、宮殿・城の記号を掲載しています。(第四号)	P.57～58 P.64
	世界の一般図に国立公園の範囲を示す記号とその名称（一部）を取り上げています。(第四号)	P.71～78 P.87～88
	一般図には遺跡・史跡や名所をそれぞれ赤字、青文字にすることでわかりやすくなるような表記を用いています。(第五号)	P.25～90 までの一般図部分
日本地図（日本の一般図） 日本の位置、日本列島北部、日本列島南部、南西諸島の島々、沖縄本島、九州地方、九州地方北部、中国地方、四国地方、近畿地方、近畿・中京、中部地方、東京～名古屋～大阪、関東地方、関東中央部、東北地方南部、東北地方北部、道央・道南、北海道地方および各都市図	日本の国土や環境の様相にかかわる事柄を一般図中に取り上げて、知識や教養の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。(第一号)	P.91～130
	日本の一般図に世界遺産の記号と名称を取り上げ、他の地名と区別がつくような記号と色彩にしています。(第四号)	P.91～130
	日本の一般図に国立公園・国定公園の範囲を示す記号とその名称、ラムサール条約指定地を示す記号を取り上げています。(第四号)	P.91～130

日本の地形区分 世界の地形 世界の気候 日本の自然環境と防災 世界の自然災害	多数の写真や模式図を収録して、世界のさまざまな自然条件のもと、人々が生活していることを理解させ、火山や地震などの自然災害にも触れることで、自然の大切さや恐ろしさ、災害に対する生命の尊さを考察できるようにしています。(第四号)	P.130 P.133～134 P.135～136 P.137～138 P.138
世界の言語と生活文化 世界の宗教と生活文化 世界の衣食住	世界の衣食住や言語・宗教がどのように分布しているのかを知ることができる主題図を掲載することで、世界の文化がわかるようにしています。(第五号)	P.139 P.140 P.141～142
地図で見る世界の結びつき 世界の人口・食料問題 世界の資源・エネルギー問題	農業や工業など産業に関連する主題図を設けることで、産業が人間生活とどのような関わり合いにあるかを考察できるようにしました。(第二号)	P.131～132 P.143～144 P.145～146
地図で見る世界の結びつき 世界の人口・食料問題 世界の資源・エネルギー問題 環境問題	人口・貿易・環境など今日の社会を現した内容の主題図を取り上げ、社会への興味や関心、社会参画への意識を持てるようにしています。(第三号)	P.131～132 P.143～144 P.145～146 P.147
地図帳の使い方 地図とGISの基本	地図を見るうえでの基本やGISの活用、身の回りにある地図についての知識が身につくようにしています。(第一号)	P.5～6 P.181～182

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①地図を見るための工夫

大州ごとにタイトルのデザインやページ番号の色を統一することで、地図を探しやすくまた目的のページにたどり着きやすくなるようにしています。

世界地図や日本地図にはインデックスマップを設け、今見ている場所が世界や日本のどの位置なのかを判断しやすいものにしてあります。また世界地図では隣接地域が何ページにあるのかを示し検索性を上げています。

②すべての方に見やすい、読みやすい文字仕様

一般図の地形表現から主題図まで地図帳全般を通して、ユニバーサルデザイン(UD)のフォントを主体としています。また、地名などの文字を見やすく、読みやすいものにするため明るい色彩の紙面構成になるよう努めました。なお、地図学習において重要である国名や首都名、都道府県名は文字のサイズを大きくし白い縁取りをして、他の地名との差をつけ目に留まりやすく、検索しやすいようにしています。さらに色合いの濃い下地の上に置かれることの多い山地・山脈名や同色の下地の上に置かれる海洋名などにも白い縁取りをつけ色覚特性のある方に対しても配慮しています。

③地名表記の精選

本地図帳では多数の学術書ならびにインターネット上にてより多く取り上げられている地名表記や現地音に近い地名表記を比較検討し、世間的に認知度の高い地名を掲載しています。

④長期の使用に対応した用紙と製本

高等学校において地図帳は3年以上の継続的な使用が考えられるため、その使用期間に耐えられる用紙の選定や頑丈な製本方式による造本を心がけています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-107	高等学校	地理歴史	地図	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
81 山川	地図081-904	コンパクト地理総合地図 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本地図帳は学習指導要領「地理総合」「地理探究」を参考にして作成するとともに、特に主題図の項目は地理総合の観点に基づいて構成しています。

(1) 一般図（世界地図・日本地図）について

○世界の一般図に収録した世界遺産、国際空港、日本から直行便のある空港、高速自動車道、戦跡、史跡・遺跡、ロケット発射場などと、日本の一般図に収録した政令指定都市、中核市、世界遺産、ラムサール条約指定地、名所・名勝、史跡・遺跡、テーマパークなどの名称は、記号・文字囲みや色を用いて示すことによって、一般の地名と一目で区別できるようにしています。さらにこれらの地名などを増やすことによって、地理の分野だけではなく、歴史総合や公共の授業においても効果的に利用できるようにしました。

○日本の一般図では、縮尺を115万分の1（九州地方、東北地方を除く）とし、拡大して見せる地域と範囲を広くして見せる地域に分けて掲載しています。人口が集中して地図情報が過密な関東中央部と近畿・中京については60万分の1の拡大図で補っています。これらの一般図は、学校における授業だけではなく日常生活においても広く利用できるように配慮し、最新の資料を収録して、普遍性の高い、辞書的な役割を持たせました。

(2) 主題図（資料図）について

○地形や気候など自然環境の主題図については、地理総合において自然環境と防災が設けられていることを考慮し、日本の地形とともに自然災害を学ぶページを設けています。

○人口・食料、資源・エネルギー、環境問題などの主題図については、地理総合、地理探究ともに地球的課題を扱っているため、独立したページを設けたりするなどの配慮をしています。

○言語、宗教、衣食住の主題図では、生活文化の多様性を視覚的に理解できるように写真を併記して親しみの持てるものとししました。

(3) 統計資料・索引について

○統計資料については、基本的な事項を取り上げ、世界各国や日本の都道府県の最新データが読み取れるようにし、索引については国名や首都名、県庁所在都市などに着色や太字を用いて検索しやすいようにしています。

○事項索引については、発祥地・原産地・語源やビジネスなどのテーマ的索引を設けることで、より地名への関心を高めるようにしています。また、歴史や政治経済・倫理分野と関連の深い地名を取り上げることで、歴史総合や公共の授業においても効果的に利用できるようにしました。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
世界の国々	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理探究 B(1) 現代世界の地域区分	P.1～2	
日本の都道府県 日本の位置	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理探究 C(1) 持続可能な国土像の探究	P.3 P.91～92	
世界の国々基本データ	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理探究 B(2) 現代世界の諸地域	P.7～24	
世界の一般図 (ユーラシア・アメリカ～ 北極・南極)	世界の一般図については、高等学校教科用図書検定基準 [地理歴史科「地図」] に基づいて作成。	P.25～90 の 一般図部分	
日本の一般図・都市図 (日本の位置～ 北海道地方, 千島列島)	日本の一般図については、高等学校教科用図書検定基準 [地理歴史科「地図」] に基づいて作成。 都市図は、高等学校教科用図書検定基準 [地理歴史科「地図」] に基づいて作成した一般図の補助資料として掲載。	P.91～130 の 一般図部分	
地域の特集	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理総合 C(1) 自然環境と防災 地理探究 A(1) 自然環境 地理探究 A(2) 資源, 産業 地理探究 A(3) 交通・通信, 観光 地理探究 A(4) 人口, 都市・村落 地理探究 A(5) 生活文化, 民族, 宗教 地理探究 B(2) 現代世界の諸地域	P.25～130 の 特集部分	
地図で見る世界の結びつき	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理探究 A(3) 交通・通信, 観光	P.131～132	
世界の地形 世界の気候 日本の自然環境と防災	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理総合 C(1) 自然環境と防災 地理探究 A(1) 自然環境 地理探究 C(1) 持続可能な国土像の探究	P.133～138	
世界の言語と生活文化 世界の宗教と生活文化 世界の衣食住	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理探究 A(5) 生活文化, 民族, 宗教 地理探究 B(2) 現代世界の諸地域	P.139～142	
世界の人口・食料問題	地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 A(2) 資源, 産業 地理探究 A(4) 人口, 都市・村落	P.143～144	
世界の資源・ エネルギー問題	地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 A(2) 資源, 産業	P.145～146	
環境問題	地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 A(1) 自然環境	P.147	

地図の歴史と図法 地図とGISの基本	地理総合 A(1)地図や地理情報システムと現代世界	P.180～182	
統計表	左に示した統計資料は、高等学校教科用図書検定基準〔地理歴史科「地図」〕に基づいて作成した一般図の補助資料として掲載。	P.148～162	
事項索引 世界地名索引, 日本地名索引	左に示した索引は、高等学校教科用図書検定基準〔地理歴史科「地図」〕に基づいて作成した一般図の補助資料として掲載。	P.163～179	